

驚き連発、考古学の旅！

ふくしま考古学の最新情報を時代ごとに紹介します。

平成29年度 秋の企画展

発掘ふくしま

◀二本松城跡蔵屋敷出土土
軒丸・軒平瓦（二本松市） 江戸時代



◀四穂田古墳出土土短甲（中島村） 古墳時代

▶宮脇遺跡 軒丸瓦（伊達市）室町時代



総合学習で縄文時代住居の発掘現場にやってきました。

土中の声に耳をすませば・・・

私たちは南相馬市立原町第一小学校の6年生です。わーい、おすなおすな。

▶南相馬市東町遺跡（写真提供 南相馬市教育委員会）

■講演会■ 会場：講堂

10月7日（土） 13:30～15:00
「ふくしまの考古学 この10年」
講師 福島県考古学会長 玉川一郎氏

11月3日（金・祝） 13:30～15:00
「最新ふくしまの古墳時代研究」
講師 福島大学人間発達文化学類教授 菊地芳朗氏

11月23日（木・祝） 13:30～15:00
「世界初！核DNA抽出に成功～三貫地貝塚の人骨は語る」
講師 国立遺伝学研究所教授 高藤成也氏

10月7日[土] ▶ 11月26日[日]

企画展「発掘ふくしま4」関連行事

■展示解説会

10月7日（土）	15:15～16:15	講師	当館学芸員
10月22日（日）	15:15～16:15	講師	当館学芸員
11月3日（金・祝）	15:15～16:15	講師	当館学芸員
11月12日（日）	13:30～14:30	講師	当館学芸員

■ゲスト解説会 11月18日（土）13:30～14:30

講師 中央大学文学部教授 小林謙一氏

11月23日（木・祝） 15:15～16:15 講師 当館学芸員

利用案内

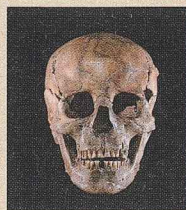
- 開館時間 9:30～17:00（入館は16:30まで）
- 会期中の休館日 10月10日・16日・23日・30日 11月6日・13日・20日
- 観覧料 一般・大学生 500円（400円）※（ ）内は20名以上の団体料金
高校生以下は無料
- 交通 JR会津若松駅より約3km
<タクシー>約10分
<バス>会津若松駅バスターミナルから
①まちなか周遊バス「ハイカラさん」で約20分 三の丸口下車
②まちなか周遊バス「あかべえ」で約30分 三の丸口下車

修復作業を終えて全出土品を公開!!



▶会津大塚山古墳出土土
三角縁神獸鏡（会津若松市）
古墳時代

▶三貫地貝塚出土男性人骨
（新地町）縄文時代



▶夏井庵寺出土土軒丸瓦
（いわき市）奈良時代



▶桜町遺跡出土土鍬（湯川村）弥生時代終末
古墳時代初頭



福島県立博物館

〒965-0807 会津若松市城東町 1-25 TEL 0242(28)6000 FAX 0242(28)5986
URL <http://www.general-museum.fks.ed.jp/> E-mail general-museum@fcs.ed.jp



発掘ふくしま

★旧石器時代—浜通りの旧石器時代人—

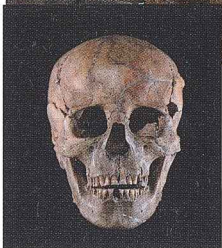
旧石器時代の調査はあまり多くありませんが、浜通りで新たな資料が確認されています。新地町赤柴遺跡の特徴的な槍先形の尖頭器、楡葉町大谷上ノ原遺跡の新たな追加資料を紹介します。



▲大谷上ノ原遺跡出土 ナイフ形石器(楡葉町)



▲東町遺跡の住居跡(南相馬市)
▲三貫地貝塚出土土人骨(新地町)



★縄文時代—ふくしまが列島文化の中心!?

今から約4,200年前の縄文時代中期の末ころ、ふくしまの安達太良山麓を中心に、「複式炉」という謎の炉をもつ住居がたくさん造られました。故梅宮茂氏が唱えた「複式炉文化論」を検証します。

—世界初! 縄文人のゲノム解析— 新地町三貫地貝塚から出土した縄文人骨の歯から、世界で初めて核DNAの抽出に成功し、縄文人の遺伝子の全容が解明されました。その研究内容を詳しく紹介します。



▲油田遺跡の再葬墓(会津美里町)

★弥生時代—墓は語る—

会津美里町油田遺跡の調査成果から、弥生時代前半期のお墓の変遷について考えます。また、次の古墳時代を迎えるにあたり、会津盆地ではどのような動きがあったのか、湯川村桜町遺跡の調査成果から探ります。



▲庚申塚古墳の埋葬施設(本宮市)

★古墳時代—新資料が語る、ふくしま古墳文化の成り立ち—

喜多方市家西遺跡の周溝墓群から出土した多様な土器、東北地方で初出土となる中島村四穂田古墳の短甲、県内でも珍しいイモガイを用いた飾り金具や鈴杏葉などの馬具が発見されたいわき市餓鬼堂横穴墓群など、本県古墳文化の解明に迫る新発見が続く近年の調査結果を紹介します。

★奈良・平安時代—県内ぐるっと郡家の旅—

地域支配のために県内各地に置かれた郡家(郡役所)のようすを紹介し、郡家の支配領域内には、各所に官営工場・官営倉庫などの関連施設が配置されていました。そこで地域の人々を使役し、さまざまな生産に当たらせていたようです。

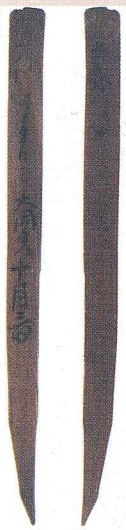
▼稲村御所跡出土漆製品(須賀川市)室町時代



★中世—進む中世城館の調査—

近年、中世城館の調査、研究が進展しています。南北朝期の結城氏の居城である白河市白川城、鎌倉府の南奥支配の拠点である須賀川市稲村御所、蘆名氏が築城した境目の城—北塩原村柏木城などを取り上げます。

▼滝川製鉄遺跡の製鉄炉跡(富岡町)幕末～明治時代



▲小茶円遺跡出土「判祀郷」「大同元年」と記された木簡(いわき市)(西暦806年)

★近世以降—城・城下・産業遺跡—

中世から継続する二本松城跡の調査成果、城下の武家の暮らしを示す若松城郭内武家屋敷の調査などを取り上げます。また、幕末から明治にかけて操業した富岡町滝川製鉄遺跡の調査成果を紹介します。

5年にわたる修復作業を終えた

特別展示

国指定重要文化財 会津大塚山古墳出土遺物一挙公開!!